



令和5年6月28日  
国土交通省関東地方整備局  
港湾空港部

## 関東大震災100年リレーシンポジウム in 神奈川を開催します ～大震災から学ぶこれからの防災～

今年には1923年9月1日に発生した関東大震災から100年を迎える節目の年であり、関東地方整備局では、関係機関と連携し、各地域でリレーシンポジウム等の取り組みを実施しています。

国土交通省関東地方整備局及び神奈川県では、神奈川県におけるこれからの防災について関東大震災100年を契機に改めて再考し、今後の対策強化の一助とするためシンポジウムを開催します。

1. 日 時：令和5年7月27日（木）13時30分～15時30分（13時00分開場）
2. 会 場：かながわ県民センター（横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2）2階ホール
3. 内 容：基調講演及びパネルディスカッション
4. 参加方法：事前申込制 定員200名 詳細は別添チラシをご覧ください。
5. その他：

取材を希望される報道機関の方は、7月25日（火）までに下記へ連絡願います。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課

電話：045-211-7427 FAX：045-228-5529

Mail：info-i83ab@mlit.go.jp

課 長 滝口 和美

課長補佐 仲里 清

(参考) 関東地方整備局の関東大震災 100 年の取り組み「連携・実践・わがこと化」について

首都直下地震に切迫性が指摘されるなか、今年には関東大震災 100 年にあたります。

首都直下地震で大きな被害が発生する地域を所管し、自らも道路、港湾、河川等のインフラを管理する関東地方整備局として、地域全体での対応力を強化するため、関係機関との連携を強化し、より実践的な応急対応を目指して訓練を行うとともに、それぞれが主体的に対応することの必要性・重要性を広く関東地域にお住まいの皆さんや関係する方々に訴えることを目的に、一連の取組を実施していきます。

1. リレーシンポジウム ～関係機関が連携し、各地域で開催～

- 1月16日(月) 東京都(実施済)
- 6月26日(月) 千葉県(実施済)
- 7月10日(月) 埼玉県
- 7月21日(金) 山梨県
- 7月27日(木) 栃木県、神奈川県
- 7月28日(金) 茨城県
- 8月17日(木) 群馬県

(パネル展)

- 7月26日(水)～7月27日(木) 長野県(会場1)
- 7月29日(土)～7月30日(日) 長野県(会場2)

2. 関東大震災100年シンポジウム～フィナーレとして～

- 8月28日(月) 主催：国土交通省
- 8月26日(土)～8月28日(月) 関東大震災特別企画展

3. 首都直下地震対応訓練 ～実践的な訓練を実施～

- 8月 道路啓開訓練、緊急支援物資水上輸送訓練 等

4. 関東大震災ゆかりの地を巡るツアー ～切迫する首都直下地震をわがことととらえる～

- 7月22日(土)、23日(日) 国土交通省、国土地理院

「関東大震災 100 年の取組」の詳細はこちらから

<https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/index00000005.html>



**参加無料  
聴講者募集!**

**先着200名**

※申し込みは裏面を  
ご覧ください。

# 大震災から学ぶ これからの防災

今年には1923年9月1日11時58分におきた関東大震災から「100年」の節目の年にあたります。首都直下地震の切迫性が指摘される中、大きな被害が予想される神奈川において「防災」の重要性を考えます。各機関の連携強化、それぞれが主体的に対応することの必要性・重要性をお伝えします。



上：震災直後の横浜市街を山手から望む(左端に開港記念会館、右端に山下橋)  
下：国道1号の松並木も多数倒れ道路をふさいだ。現在の横浜市戸塚区

大きな損害を受けながらも被災者救援を支えた横浜港・大さん橋  
写真提供：「大正十二年九月一日大震災写真帖」神奈川県編

日時 **2023年7月27日 木**

**13:30 ▶ 15:30**  
[13:00開場]



『連携・実践・わがこと化』

会場 **かながわ県民センター**  
2階ホール(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)



アクセス  
▶ JR・私鉄  
「横浜駅」西口・きた西口  
を出て、徒歩5分  
▶ 横浜市営地下鉄  
横浜駅地下鉄「北6」出口  
を出て、徒歩2分

基調講演



●13:40~  
「関東地震による神奈川県内の土砂災害」  
**井上 公夫 氏**  
(一財)砂防フロンティア整備推進機構 専門研究員  
専門は防災地形学。  
著書：関東地震と土砂災害(古今書院、2013年)、歴史的大規模土砂災害地点を歩くI~III(丸源書店、2018~2020)、中央防災会議・災害教訓の継承に関する専門調査会「1707 富士山宝永噴火」、「1847 善光寺地震」、「1858 飛越地震」、「1923 関東大震災」、「1947 カスリーン台風」、「1707 宝永地震」報告書分担執筆。

●13:55~  
「関東大震災と横浜港の被災」  
**志澤 政勝 氏**

横浜みなと博物館 前館長  
1952年神奈川県生まれ。横浜みなと博物館前館長。  
主な担当展覧会「横浜の造船業」「歌、映画、小説のなかの横浜港」「日本の海の玄関 大さん橋物語」「魅惑の日本の客船ポスター」「柳原良平 海と船と港のギャラリー」「横浜船渠 ドック物語」など。著書に「横浜港ものがたり-文学にみる港の姿」(有隣堂)、共著に「横浜開化錦絵を読む」(東京堂)など。



パネルディスカッション

●14:20~ 「関東大震災 被害とその教訓」  
**井上 公夫 氏 / 志澤 政勝 氏**  
**小野 憲司 氏 / 今泉 マユ子 氏 / 藤崎 伸二郎 氏**



**小野 憲司 氏**  
京都市大学経営管理大学院  
客員教授



**今泉 マユ子 氏**  
株式会社オフィスRM  
代表取締役



**藤崎 伸二郎 氏**  
神奈川県土整備局  
河川下水道部長

お問い合わせ ※お申し込みの詳細は裏面をご覧ください。

株式会社 神奈川新聞総合サービス  
(関東大震災100年リレーシンポジウム係)  
〒231-0011 横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター 12F  
**TEL.045-226-1159**(平日10:00~17:00)  
主催：国土交通省関東地方整備局 / 神奈川県 後援：神奈川新聞社

# 大震災から学ぶ これからの防災

## 応募方法

参加ご希望の方は、FAX、ハガキ、メール、WEBフォーム（右下の2次元コードより）のいずれかで、  
 ①イベント名 ②代表者名の郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥電話番号 ⑦複数の場合は人数  
 を明記し、下記までお申し込みください。

※先着順とさせていただきます。7月22日(土) までを目処にハガキ・メールでご招待案内をお送りいたします。

**応募締め切り 2023年7月18日(火) 12:00** ※ハガキでお申し込みの場合は**必着**

**FAXでお申し込みの方** 当用紙を記入の上、下記の番号までご送付ください。

氏名	ふりがな	
	( 歳)	
住所	〒 -	
メールアドレス	@	
電話番号	- - (自宅・携帯)	
同行者氏名	ふりがな	ふりがな
	( 歳)	( 歳)
氏名	ふりがな	ふりがな
	( 歳)	( 歳)

**FAX送付先 045-226-1176**

### ハガキでお申し込み

〒231-0011  
 横浜市中区太田町2-23  
 株式会社 神奈川新聞総合サービス  
 「関東大震災100年  
 リレーシンポジウム」係

### メールでお申し込み

メール：  
**s-uketsuke@  
 kanagawa-shimbun.jp**  
 件名欄に「リレーシンポジウム申込」  
 とご記載ください。

### WEBフォームでお申し込み

右記の2次元コードを  
 読み込み、必要事項を  
 入力してください。



#### 【個人情報の取り扱いについて】

- 応募者から提供を受けた個人情報は、本イベントの参加通知および当日の参加者管理に使用いたします。
- お預かりした個人情報は、前項の目的以外には使用いたしません。また、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。

お問い合わせ

株式会社 神奈川新聞総合サービス(関東大震災100年リレーシンポジウム係)

〒231-0011 横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター 12F TEL.045-226-1159(平日10:00~17:00)